

一文不通——と詠ふなりきなり——が溜州——とす  
梁氏の家。はてして乳母の恩ありけりば病なり養ふ  
て産婆と号を極くて馬の病なりきなりきと唯るに  
——人実しき主の母罷夫人きり得るに  
——産婦工夫と勤行ひ産婆を朝夕共側に居て  
三念佛と唱ふも外なり——と産婆も持  
ず——と移るるを夜きりて幾も通といふ  
も知らず産婆——七十二なり——病を患ひて脚も  
きりて床に臥し——と念佛と唱ふなり

病状然——ときりなり——起りて偈を唱へて曰

西方一路好修行 上無餘額下無坑

去時不用著鞋襪 脚踏蓮華步步生

此偈を詠吟——と口を縫ふと念佛の称名——かて  
唱ふと産婆——と感と促す人聞ひけりとは  
偈の韻律——と稱ひ而して佛法大悟の理を會する  
是は何人の語なりとやと産婆きりて曰我を  
所化の偈なり流るる産婆に作らし——と人曰念  
佛三昧より発徳——と自然智を生ずるなり